

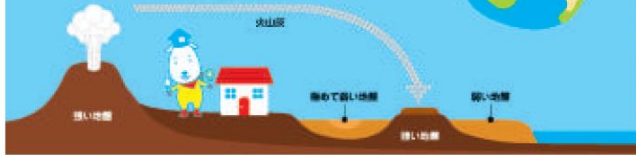


住まいるニュース

vol.35



知っていますか？ 「地盤」の重要性。



地盤は家を支えるための最も重要な部分です。

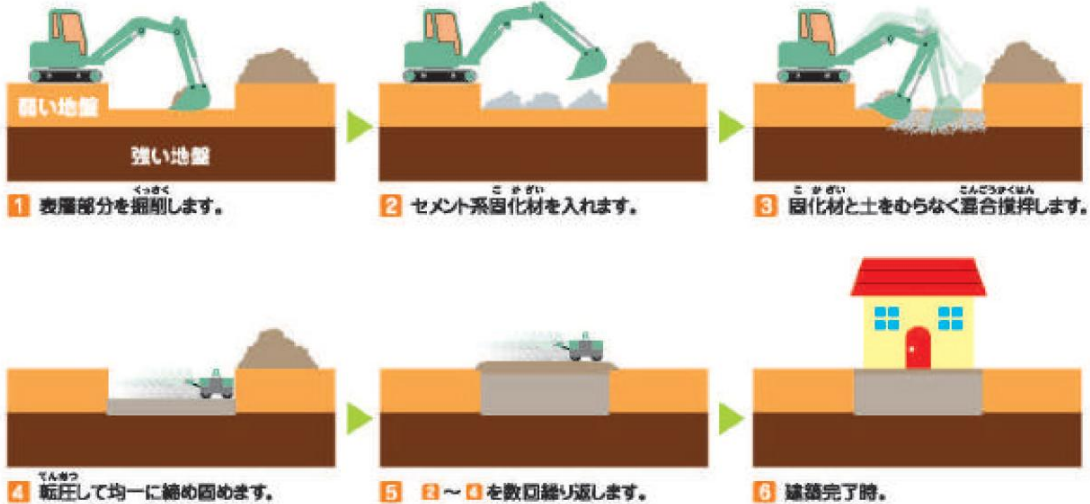
家を支えているのは、柱や壁などの「構造」だけではありません。最も重要な部分は「地盤」です。目では見えない地盤の中身は、場所によって違うので、しっかりと調べる必要があります。地盤調査の結果、強い地盤だと分かった場合は、直接基礎で建物を支えます。もし、弱い地盤だと分かった場合は、強い地盤までの深さに合わせて、地盤の補強工事を行います。



補強工事を必要とする地盤（地盤補強工事の一般的な工法）

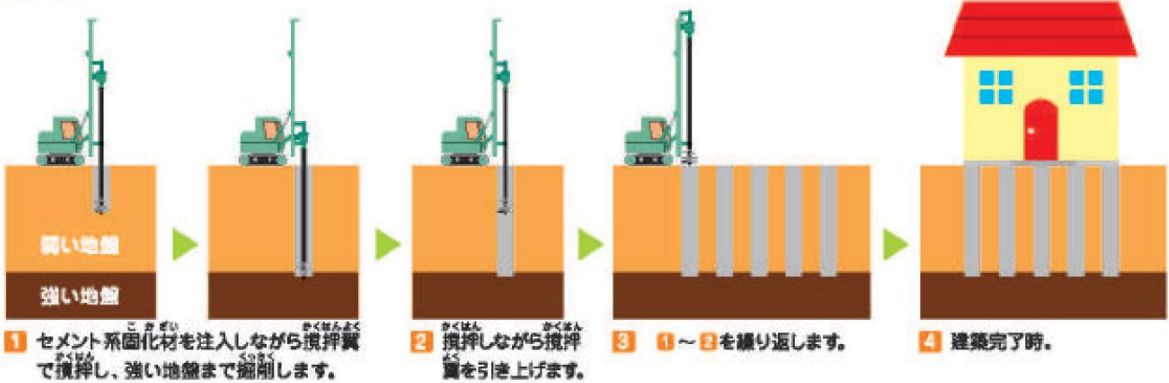
1 表層地盤改良工法（ひょうそうじばんかいりょうこうほう）

1m程度までが弱い地盤の場合に、効果的な工法です。



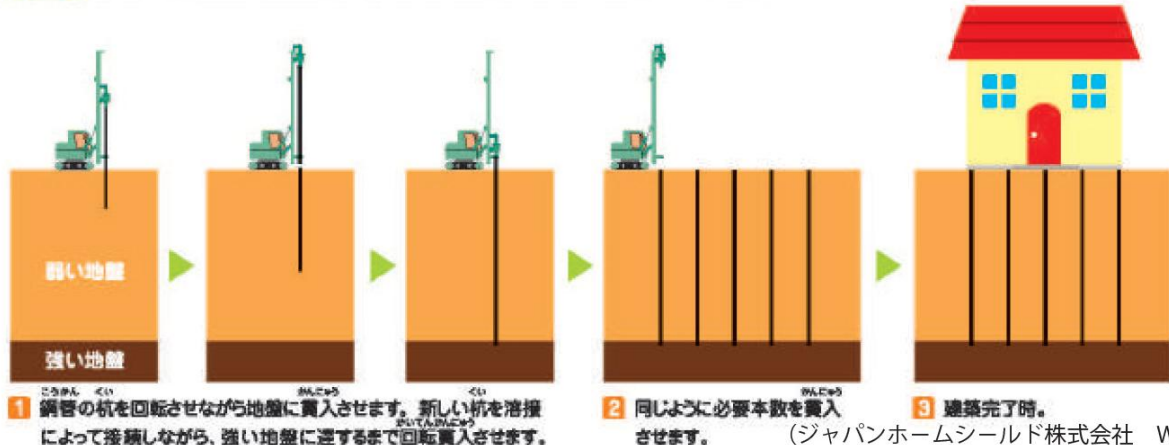
2 湿式柱状改良工法（しつしきちゅうじょうかいりょうこうほう）

8m程度まで弱い地盤が続く場合に適した工法です。



3 小口径鋼管工法（しょうこうけいこうかんこうほう）

8m以上弱い地盤が続き、強い地盤が深いところにある場合に適した工法です。



建築中の現場のご紹介

A様邸 (綾部市)



S様邸 (福知山市)



W様邸 (福知山市)



S様邸 (福知山市)



O様邸 (福知山市)



S様邸 (福知山市)



S様邸 (福知山市)



住宅事業部 STAFFコラム

木造軸組工法（在来工法）のメリット

建物は柱と梁で形作りますが、地震などの外力から耐える為にバツェンの形をした筋交いを入れて補強します。これが木造軸組工法の特徴です。この筋交いに制震装置を付けたり、柱や梁と筋交いの連結部分に特徴的な金具を利用したりして強度を高めています。



自由度が高い

設計の自由度では木造軸組工法が最も高いのではないのでしょうか？
軽量鉄骨や2×4など色々な構造があると思いますが、5mなどの大空間を必要とする場合は木造では不利になりますが、細かい縛りが少ないので間取りの自由度では木造軸組工法は有力な選択肢となるのではないのでしょうか。

可変性が高い

です。2×4工法では体力壁が存在し、構造体としてそれを抜くことは出来ません。木造軸組工法でも筋交いを外すことが出来ない部分も存在しますが、比較的変性が高いと言えます。住宅は何十年も使い続けるものですから、家族構成の変化などによって間取りを変えたり、増築したりすることも考えられます。その際に規制が大きい方が後々助かりますよね。木造でも今後2度に渡る地震にも耐える事が求められてくるかもしれません。竹のように撓る強さを持った住宅が求められ、制振工法などこれからどんどん進化していくと思います。



今回の担当は、

営業

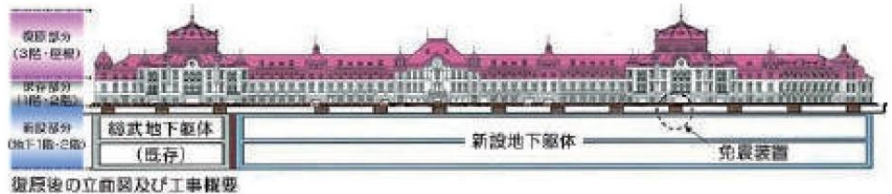
関戸慶史

重要文化財の建築物の耐震改修に、免震工法を採用



東京駅丸の内駅舎の耐震改修では、免震レトロフィット工法が採用されています。既存建物の最下層や中間層に免震装置を組込、建物を免震化する改修工法です。では、免震装置とはどういうものか。基本的な仕組みは、地盤と建物を

絶縁し、その間に「アイソレータ（絶縁体）」を挟むことで地震エネルギーを建物に直接伝わりにくくし、地震の激しい揺れを軽減させます。



ヨネダの住宅ラインナップ

■未来を担うゼロエネルギー住宅

ウイズ
— With —

省エネの工夫で消費エネルギーを減らし、使うエネルギーは自ら創り出す。究極のエコロジー住宅です。



モデルハウス
公開中



■想いがカタチになる家

LIN — 凛 —

内装・外装材全て自由に、デザインも思いのままに、楽しめる遊び心満載の家。フリープランの間取りは、ご家族の想いをカタチにし、心地よい暮らしを実現します。



■「好き」がつけれる。セレクトプランの家

ここちえ
cocochie

安心機能が全てセットのセレクト定額制プラン。家づくりに精通したヨネダから自信を持っておすすめするベストプランが詰まっています。



株式会社ヨネダ 住宅事業部 ☎0120-406-217

京都府福知山市宇堀小字道場2433番地 TEL:0773-22-6899 FAX:0773-22-1516

